

1.	④	11.	④	21.	③	31.	②	41.	③
2.	①	12.	②	22.	③	32.	①	42.	①
3.	③	13.	①	23.	③	33.	④	43.	④
4.	①	14.	②	24.	④	34.	①	44.	②
5.	③	15.	④	25.	①	35.	①	45.	①
6.	①	16.	④	26.	②	36.	④	46.	③
7.	④	17.	①	27.	③	37.	④	47.	①
8.	③	18.	②	28.	①	38.	③	48.	④
9.	②	19.	③	29.	①	39.	②	49.	②
10.	④	20.	③	30.	④	40.	③	50.	①

1.

解答 ④

【解説】

「喜び、楽しみ」という意味に最も近い英単語は④の **pleasure** です。満足感や楽しさを伴う、心地よい感情を指します。例えば、「読書の喜び」は **the pleasure of reading** と表現します。他の選択肢について、① **pressure** は「圧力」、② **treasure** は「宝物」、③ **measure** は「手段、尺度」です。

◆補足：pleasure の動詞形は **please** (～を喜ばせる)、形容詞形は **pleasant** (心地よい) です。It's my pleasure. は、Thank you. に対する丁寧な返答として「どういたしまして」という意味で使われます。

2.

解答 ①

【解説】

「(～から) 逃げる」という意味に最も近い英単語は①の **escape** です。捕らえられていた場所から自由になったり、危険な状況や好ましくない状況を避けたりすることを指します。例えば、「刑務所から脱走する」は **escape from prison** と表現します。他の選択肢について、② **scrape** は「～をこする」、③ **shape** は「～を形作る」、④ **estate** は「財産」という意味です。

◆補足：escape は名詞としても使われ、「逃亡、脱出」を意味します。escape from ～ の形で使われることが非常に多いです。

3.

解答 ③

【解説】

英単語「weapon」は、「武器、兵器」という意味の名詞です。戦闘や戦争で、相手を攻撃したり、身を守ったりするために使われる道具を指します。例えば、「核兵器」は **nuclear weapons** と表現します。選択肢①「天候」は **weather**、②「富」は **wealth**、④「結婚式」は **wedding** です。

◆補足：weapon は、物理的な武器だけでなく、比喩的に「(議論などの) 武器、手段」という意味で使われることもあります。

4.

解答 ①

【解説】

英単語「economic」は、「経済の、経済学の」という意味の形容詞です。国や地域の経済システムに関連することを指します。例えば、「経済成長」は **economic growth**、「経済危機」は **an economic crisis** と表現します。選択肢②「経済的な」は **economical** で、「節約になる、お得な」という意味です。③「生態系の」は **ecological**、④「電気の」は **electric** です。

◆補足：economic と economical の使い分けは非常に重要です。economic car とは言わず、「燃費の良い車」は **an economical car** と言います。一方、「経済問題」は **an economic issue** であり、economical issue とは言いません。

5.

解答 ③

【解説】

「定住する」という意味に最も近い英単語は③の **settle** です。ある場所に永住の目的で腰を据え、家を構えて生活を始めることを指します。例えば、「彼らはカナダに定住することに決めた」のように使います。他の選択肢について、① **surround** は「～を囲む」、② **swallow** は「～を飲み込む」、④ **struggle** は「奮闘する」という意味です。

◆補足：settle は多義語で、他に「(問題・紛争など)を解決する」や「落ち着く、静まる」といった重要な意味も持ちます。名詞形は **settlement** (開拓地、解決) や **settler** (入植者) です。

6.

解答 ①

【解説】

英単語「while」は、時を表す「～する間に」という意味がよく知られていますが、接続詞として「一方で、～だけでも」という対比の意味も持ちます。二つの異なる事実や考え方を比較する際に使われ

ます。例えば、「彼は音楽が好きな一方で、私はスポーツが好きだ」のように使います。選択肢②「～以来」は **since**、③「もし～ならば」は **if**、④「たとえ～でも」は **even if** です。

◆補足：対比を表す **while** は、**whereas** とほぼ同じ意味で、文頭または文中で使われます。この用法は、論理的な文章を読み解く上で非常に重要です。

7.

解答 ④

【解説】

「～を占領する、占める」という意味に最も近い英単語は④の **occupy** です。軍隊が他国を支配下におくことや、ある空間や時間を満たしていることを指します。例えば、「その軍隊はその都市を占領した」のように使います。他の選択肢について、① **occur** は「起こる」、② **offer** は「～を提供する」、③ **copy** は「～を写す」という意味です。

◆補足：**occupy** の名詞形は **occupation** ですが、この単語には「占領」の他に「職業」という重要な意味があるため注意が必要です。**be occupied with ～** で「～で忙しい」という熟語になります。

8.

解答 ③

【解説】

「鎖、連鎖」という意味に最も近い英単語は③の **chain** です。金属の輪をつなげたものや、一連の出来事・物事のつながりを指します。例えば、「食物連鎖」は **a food chain** と表現します。他の選択肢について、① **chair** は「椅子」、② **chance** は「機会」、④ **change** は「変化」です。

◆補足：**chain** は、同じ会社が経営する店やホテルの集まり（チェーン店）を指すこともあります（例：**a chain of restaurants**）。動詞としては「～を鎖でつなぐ」という意味になります。

9.

解答 ②

【解説】

英語表現「**come across ～**」は、「～に偶然出会う、～を偶然見つける」という意味です。予期せずに人や物に遭遇する状況を表します。例えば、「古い写真を偶然見つけた」は **I came across an old photograph.** と表現します。選択肢①「～を思いつく」は **come up with ～**、③「（病気に）かかる」は **come down with ～**、④「実現する」は **come true** です。

◆補足：**come across ～** は、**run into ～** や **bump into ～** とほぼ同じ意味で使えます。人だけでなく、物に対しても使える便利な表現です。

10.

解答 ④

【解説】

英単語「ankle」は、「足首、くるぶし」という意味の名詞です。足と脚をつなぐ関節部分を指します。例えば、「足首を捻挫する」は **twist one's ankle** と表現します。選択肢①「角度」は **angle**、②「天使」は **angel**、③「叔父」は **uncle** で、いずれも発音が似ているため注意が必要です。

◆補足：体の一部を表す単語は、日常生活でも医療の文脈でも重要です。**wrist**（手首）、**knee**（膝）、**elbow**（肘）などと合わせて覚えておきましょう。

11.

解答 ④

【解説】

「一般的に、普通に」という意味に最も近い英単語は④の **commonly** です。広く、多くの人々によって、あるいは頻繁に行われる様子を表します。例えば、「一般的に信じられている」は **It is commonly believed that...** と表現します。他の選択肢について、① **calmly** は「穏やかに」、② **comically** は「滑稽に」、③ **completely** は「完全に」という意味です。

◆補足：**commonly** は、形容詞 **common**（共通の、普通の）から派生した副詞です。類義語の **generally** よりも、より「頻繁に、広く」というニュアンスが強いです。

12.

解答 ②

【解説】

英単語「nature」は、「自然」と「性質」という二つの主要な意味を持つ名詞です。①山、川、動植物など、人間によって作られていないすべてのもの（自然）、②人や物が元々持っている基本的な特徴（性質）の両方を指します。例えば、「母なる自然」は **Mother Nature**、「人間性」は **human nature** と表現します。選択肢①「未来」は **future**、③「国」は **nation**、④「隣人」は **neighbor** です。

◆補足：**nature** の形容詞形は **natural**（自然な）、副詞形は **naturally**（自然に）です。**by nature** は「生まれつき、本来」という意味の重要な熟語です。文脈に応じて「自然」と「性質」のどちらの意味かを判断することが重要です。

13.

解答 ①

【解説】

「著者、作者」という意味に最も近い英単語は①の **author** です。本や記事、脚本などを書いた人を指します。例えば、「その本の著者は誰ですか」は **Who is the author of the book?** と尋ねます。他の選択肢について、② **actor** は「俳優」、③ **editor** は「編集者」、④ **athlete** は「運動選手」です。

◆補足：**author** と関連の深い **authority**（権威）という単語を考えると、作品に対する第一人者（権威）が **author** であるとイメージできます。

14.

解答 ②

【解説】

英単語「**lamp**」は、「ランプ、灯り」という意味の名詞です。光を出すための器具を指します。例えば、「電気スタンド」は **a desk lamp** と表現します。選択肢①「子羊」は **lamb** で、**b** が発音されない黙字である点に注意が必要です。③「塊」は **lump**、④「手足」は **limb** です。

◆補足：**lamp** は光を出す「器具」そのものを指すのに対し、**light** はランプから放たれる「光」そのものを指すという違いがあります。

15.

解答 ④

【解説】

「批評家」という意味に最も近い英単語は④の **critic** です。本、映画、芸術作品などを評価し、その良し悪しについての意見を述べることを職業とする人を指します。例えば、「映画評論家」は **a film critic** と表現します。他の選択肢について、① **cricket** は「クリケット（スポーツ）やコオロギ」、② **crisis** は「危機」、③ **crime** は「犯罪」です。

◆補足：**critic** の動詞形は **criticize**（～を批判する）、名詞形は **criticism**（批判、批評）、形容詞形は **critical**（批判的な、重大な）です。これらは全て関連語なので、セットで覚えることが重要です。

16.

解答 ④

【解説】

「～を出版する、公表する」という意味に最も近い英単語は④の **publish** です。本や雑誌などを印刷して、一般の人々が利用できるようにすることを指します。また、情報をウェブサイトなどで公にすることも含みます。他の選択肢について、① **punish** は「～を罰する」、② **polish** は「～を磨く」、③ **purchase** は「～を購入する」という意味です。

◆補足：**publish** の名詞形は **publication**（出版、出版物）と **publisher**（出版社、発行人）です。語源は **public**（公の）と関連があり、「公にする」というのが核となるイメージです。

17.

解答 ①

【解説】

「～に（予期せず）遭遇する」という意味に最も近い英単語は①の **encounter** です。人や物に偶然出会ったり、困難や問題に直面したりすることを指します。例えば、「私たちは予期せぬ困難に遭遇した」のように使います。他の選択肢について、② **encourage** は「～を励ます」、③ **endure** は「～に耐える」、④ **enter** は「～に入る」という意味です。

◆補足：**encounter** は、**come across** ～ や **run into** ～ と似ていますが、よりフォーマルな響きがあり、特に困難な状況との遭遇を表す際によく使われます。名詞としても「遭遇」という意味で使われます。

18.

解答 ②

【解説】

英単語「**widespread**」は、「広範囲にわたる、広く行き渡った」という意味の形容詞です。ある事柄が、多くの場所で、あるいは多くの人々の間で存在したり起こったりしていることを示します。例えば、「広範囲にわたる被害」は **widespread damage**、「幅広い支持」は **widespread support** と表現します。選択肢①「賢明な」は **wise**、③「野生の」は **wild**、④「価値のある」は **worthwhile** です。

◆補足：**widespread** は、**wide**（広い）と **spread**（広がる）が組み合わさった複合語で、言葉の成り立ちから意味を推測しやすい単語です。

19.

解答 ③

【解説】

英語表現「**for certain**」は、「確かに、間違いなく」という意味です。ある事柄が確実であることを強調する際に使われる、やや口語的な表現です。**for sure** とほぼ同じ意味で使われます。例えば、「彼は確かに来るとは言えない」は **I can't say for certain that he'll come.** と表現します。選択肢①「無料で」は **for free**、②「例えば」は **for instance**、④「永久に」は **for good** です。

◆補足：**for certain** は、**know** や **say** といった動詞の後ろで使われることが多いです。

20.

解答 ③

【解説】

「～を伴う、含む」という意味に最も近い英単語は③の **involve** です。ある活動や状況が、何かを必要な部分や結果として含んでいることを示します。例えば、「その仕事には多くの出張が伴う」は **The job involves a lot of travel.** と表現します。他の選択肢について、① **invent** は「～を発明する」、② **invite** は「～を招待する」、④ **invade** は「～に侵入する」という意味です。

◆補足：**involve** は、**involve doing** の形で「～することを含む」と、後ろに動名詞が続くことも多いです。名詞形は **involvement**（関与、関わり合い）です。

21.

解答 ③

【解説】

英単語「**although**」は、「…だけれども、…にもかかわらず」という意味の接続詞です。前の文の内容と対照的な事実を導入する際に使われます。例えば、「彼は疲れていたけれども、働き続けた」は **Although he was tired, he continued to work.** と表現します。選択肢①「…なので」は **because**、②「…の前に」は **before**、④「…に加えて」は **besides** です。

◆補足：**although** は、類義語の **though** よりもややフォーマルな響きがあります。**even though** は、これらよりもさらに強い対比を強調する表現です。

22.

解答 ③

【解説】

「意図」という意味に最も近い英単語は③の **intention** です。何かをしようとする、心の中の計画や目的を指します。例えば、「彼にはうそをつく意図はなかった」のように使います。他の選択肢について、① **invention** は「発明」、② **attention** は「注意」、④ **interaction** は「交流、相互作用」です。

◆補足：**intention** の動詞形は **intend**（～するつもりである）です。**have no intention of doing ～**（～するつもりは毛頭ない）という表現は頻出です。形容詞形は **intentional**（意図的な）で、対義語は **unintentional**（意図的でない）です。

23.

解答 ③

【解説】

英語表現「**on the other hand**」は、「他方では、その一方で」という意味です。前述の事柄とは対照的な事実や意見を導入する際に使われる接続副詞的な表現です。例えば、「この車は燃費が良い。その一方で、価格が高い」のように使います。選択肢①「一列に」は **on the line**、②「全体として」は **on the whole**、④「要求に応じて」は **on demand** です。

◆補足：on the other hand は、しばしば on the one hand（一方では）とセットで使われ、物事の二つの異なる側面を提示する際に用いられます。

24.

解答 ④

【解説】

「～を祝う」という意味に最も近い英単語は④の **celebrate** です。特別な日や良い出来事を、パーティーを開くなどして楽しく過ごすことを指します。例えば、「誕生日を祝う」は **celebrate one's birthday** と表現します。他の選択肢について、① **separate** は「～を分ける」、② **hesitate** は「ためらう」、③ **accelerate** は「～を加速する」という意味です。

◆補足：**celebrate** の名詞形は **celebration**（お祝い、祝賀会）です。また、有名人を指す **celebrity** という単語も、元々は「祝われる人」というニュアンスから来ています。

25.

解答 ①

【解説】

「～を掘る」という意味に最も近い英単語は①の **dig** です。道具や手、機械などを使って、土や地面を掘り返す行為を指します。例えば、「庭に穴を掘る」は **dig a hole in the garden** と表現します。他の選択肢について、② **dip** は「～を浸す」、③ **drag** は「～を引きずる」、④ **deal** は「取引する、～を扱う」という意味です。

◆補足：**dig** の動詞活用は、**dig-dug-dug** という不規則変化をします。**dig up** ～ で「～を掘り出す」という句動詞になります。

26.

解答 ②

【解説】

「～を購入する」という意味に最も近い英単語は②の **purchase** です。特にある程度の大きさや価値のあるものを、お金を払って手に入れることを指します。例えば、「新しい車を購入する」のように使います。他の選択肢について、① **pursue** は「～を追求する」、③ **punish** は「～を罰する」、④ **publish** は「～を出版する」という意味です。

◆補足：**purchase** は、一般的な「買う」を意味する **buy** よりもフォーマルな言葉です。名詞としても使われ、「購入、購入品」を意味します。

27.

解答 ③**【解説】**

「陸軍」という意味に最も近い英単語は③の **army** です。国の軍事力のうち、陸上で戦闘を行う部隊を指します。他の選択肢について、① **navy** は「海軍」、② **air force** は「空軍」で、これらは軍隊の異なる部門です。④ **ally** は「同盟国」を意味します。

◆**補足**：**army** は、比喩的に「大群」という意味でも使われます（例：**an army of ants** アリの大群）。軍隊全体を指す場合は **the military** や **the armed forces** といった言葉が使われます。

28.

解答 ①**【解説】**

「～を飾る」という意味に最も近い英単語は①の **decorate** です。何かを付け加えることによって、より魅力的に見せることを指します。例えば、「部屋を花で飾る」は **decorate a room with flowers** と表現します。他の選択肢について、② **dedicate** は「～を捧げる」、③ **decline** は「～を断る」、④ **declare** は「～を宣言する」という意味です。

◆**補足**：**decorate** の名詞形は **decoration**（飾り、装飾）です。また、装飾をする人は **decorator** と呼ばれます。

29.

解答 ①**【解説】**

「～に挨拶する」という意味に最も近い英単語は①の **greet** です。人に会ったときや、人を歓迎するときに、言葉をかけたり、お辞儀をしたりする行為を指します。例えば、「笑顔で客に挨拶する」は **greet customers with a smile** と表現します。他の選択肢について、② **great** は形容詞で「素晴らしい」、③ **regret** は「～を後悔する」、④ **agree** は「同意する」という意味です。

◆**補足**：**greet** と **great** は同音異義語なので、リスニングや文脈判断で注意が必要です。名詞形は **greeting**（挨拶）で、**greeting card**（挨拶状）のように使われます。

30.

解答 ④**【解説】**

英語表現「**it is said that...**」は、「…と言われている」という意味です。世間一般でそう信じられている噂や通説を、客観的に述べる際に使われる構文です。例えば、「納豆は健康に良いと言われている」のように使います。選択肢①「…と決定されている」は **it is decided that...**、②「…と知られている」

は it is known that…、③「…と考えられている」は it is thought that… や it is believed that… が対応します。

◆補足：この構文は、People say that ... や、主語を前に出した S is said to do ... という形で書き換えることができます。例えば、He is said to be very rich. (彼はとても裕福だと言われている) となります。

31.

解答 ②

【解説】

英語表現「for fear that…」は、「…することを恐れて、…しないように」という意味です。望ましくない事態が起こるのを避けるために、ある行動をとる理由を説明する接続詞句です。例えば、「彼は失敗を恐れて、挑戦しなかった」は He didn't try for fear that he might fail. と表現します。選択肢①「…という理由で」は on the grounds that…、③「…だとしても」は even if…、④「…の場合に備えて」は in case… が対応します。

◆補足：for fear that の後には、しばしば should や might といった助動詞が伴います。lest ... should ... という、さらにフォーマルな表現とほぼ同じ意味で使われます。

32.

解答 ①

【解説】

「(一時的に) 移住する」という意味に最も近い英単語は①の migrate です。鳥が季節ごとに移動するように、あるいは人々が仕事を求めて移動するように、ある場所から別の場所へ移ることを指します。他の選択肢について、② immigrate は永住目的で「(外国から) 移住してくる」、③ emigrate は永住目的で「(外国へ) 移住していく」という意味で、国境を越える永住を含意します。④ hesitate は「ためらう」という意味です。

◆補足：migrate は、永続的とは限らない、より一般的な「移動・移住」を表します。名詞形は migration (移住、移動)、移住者は migrant と言います。

33.

解答 ④

【解説】

「～を提出する」という意味に最も近い英単語は④の submit です。報告書や申請書などを、検討や承認を得るために、権威のある人や組織に渡すことを指します。例えば、「レポートを提出する」は submit a report と表現します。他の選択肢について、① admit は「～を認める」、② commit は「(罪など) を犯す」、③ permit は「～を許可する」という意味です。

◆補足：submit の語源は、ラテン語の sub-（下に）+ mittere（送る）で、「下に送る」というイメージが、目上の人への「提出」や「服従」という意味につながっています。名詞形は submission（提出、服従）です。

34.

解答 ①

【解説】

「独立した」という意味に最も近い英単語は①の independent です。他からの支配や影響を受けず、自分の力で物事を行う様子を表します。例えば、「独立国」は an independent country と表現します。他の選択肢について、② indifferent は「無関心な」、③ indispensable は「不可欠な」、④ indirect は「間接的な」という意味で、いずれも否定の接頭辞 in- が付く紛らわしい形容詞です。

◆補足：independent は、否定の接頭辞 in- と、形容詞 dependent（依存した）が組み合わさった言葉です。名詞形は independence（独立）です。

35.

解答 ①

【解説】

「墓」という意味に最も近い英単語は①の tomb です。特に、石で造られたり、地面の下に掘られたりした、大きな墓を指します。例えば、「無名戦士の墓」は the Tomb of the Unknown Soldier と表現されます。他の選択肢について、② thumb は「親指」、③ dome は「ドーム」、④ bomb は「爆弾」です。

◆補足：tomb の発音は /tu:m/（トゥーム）で、最後の b は発音しない黙字である点に注意が必要です。一般的な「墓」を指す grave と比べて、tomb はより大きく、精巧な建造物というニュアンスを持ちます。

36.

解答 ④

【解説】

「めったに～ない」という意味に最も近い英単語は④の rarely です。物事が起こる頻度が非常に低いことを表す副詞です。例えば、「彼はめったに外食しない」は He rarely eats out. と表現します。他の選択肢について、① barely は「かろうじて」、② nearly は「ほとんど」、③ really は「本当に」という意味です。

◆補足：rarely は、否定語ではないですが、文中に置かれると否定的な意味合いを持つ「準否定語」の一つです。seldom や hardly ever とほぼ同じ意味で使われます。形容詞形は rare（珍しい）です。

37.

解答 ④

【解説】

「統治者」という意味に最も近い英単語は④の **ruler** です。国を支配し、統治する権力を持つ人を指します。例えば、「絶対君主」は **an absolute ruler** と表現します。他の選択肢について、① **rumor** は「うわさ」、② **rubber** は「ゴム」、③ **rural** は形容詞で「田舎の」という意味です。

◆**補足**：**ruler** は、動詞 **rule**（～を統治する）に、人を表す接尾辞 **-er** が付いた形です。また、全く別の意味で、直線を引いたり長さを測ったりするための「定規」という意味も持ちます。文脈でどちらの意味かを判断することが必要です。

38.

解答 ③

【解説】

「～を放送する」という意味に最も近い英単語は③の **broadcast** です。テレビやラジオで番組を電波に乗せて送ることを指します。例えば、「そのニュースは全国に放送された」のように使います。他の選択肢について、① **board** は「板、委員会」、② **boast** は「自慢する」、④ **forecast** は「～を予報する」という意味です。

◆**補足**：**broadcast** は、名詞としても「放送、放送番組」という意味で使われます。また、過去形・過去分詞形も **broadcast** のまま変わらない不規則動詞ですが、近年では **broadcasted** という形も使われることがあります。

39.

解答 ②

【解説】

英単語「**fiction**」は、「小説、作り話」という意味の名詞です。現実ではなく、想像に基づいて作られた物語を指します。例えば、「SF 小説」は **science fiction** と表現します。選択肢①「事実」は **fact** で、**fiction** の明確な対義語です。③「摩擦」は **friction**、④「部分」は **fraction** で、スペルや発音が似ているため注意が必要です。

◆**補足**：**fiction** には、「フィクション、創作」というジャンル全体を指す不可算名詞としての用法と、「一編の小説」を指す可算名詞としての用法があります。形容詞形は **fictional**（架空の）です。

40.

解答 ③

【解説】

「勇気」という意味に最も近い英単語は③の **courage** です。恐れずに、危険や困難、痛みに立ち向かう精神的な強さを指します。例えば、「勇気を出す」は **summon up one's courage** と表現します。他の選択肢について、① **carriage** は「馬車」、② **college** は「大学」、④ **garbage** は「ごみ」です。

◆**補足**：**courage** の形容詞形は **courageous**（勇敢な）です。また、動詞 **encourage**（～を勇気づける）や **discourage**（～をがっかりさせてやめさせる）は、この **courage** という単語の中に含まれていることを意識すると、意味を理解しやすくなります。

41.

解答 ③**【解説】**

「～を中止する」という意味に最も近い英単語は③の **cancel** です。予定されていたイベントや計画などを、取りやめることを指します。例えば、「会議を中止する」は **cancel the meeting** と表現します。他の選択肢について、① **counsel** は「～に助言する」、② **conceal** は「～を隠す」、④ **concern** は「～に関係する、～を心配させる」という意味です。

◆**補足**：**cancel** は、類義語の **postpone**（延期する）と区別することが重要です。**cancel** は「取りやめ」、**postpone** は「後日に行う」という違いがあります。名詞形は **cancellation** です。

42.

解答 ①**【解説】**

「光、明かり」という意味に最も近い英単語は①の **light** です。太陽やランプなどから発せられ、物を見ることを可能にするエネルギーを指します。例えば、「光の速さ」は **the speed of light** と表現します。他の選択肢は発音が似ていますが、② **right** は「権利、正しい」、③ **night** は「夜」、④ **sight** は「光景、視力」を意味します。

◆**補足**：**light** は多義語で、形容詞としては「軽い」や「(色が) 薄い」、動詞としては「～に火をつける」など、様々な意味を持ちます。文脈に応じて意味を正確に判断することが重要です。

43.

解答 ④**【解説】**

英単語「**content**」が名詞として使われる場合、「中身、内容」という意味です。本、映画、スピーチなどで語られる情報や考え、あるいは容器に入っているものを指します。複数形の **contents** で使われることが多いです。例えば、「本の目次」は **the table of contents** と表現します。選択肢①「競争」は **contest**、②「契約」は **contract**、③「接触」は **contact** です。

◆補足：content は、形容詞として使うと /kən'tent/（コンテンツ）のように後ろにアクセントが置かれ、「満足して」という意味になります。名詞の場合は /'kɒntent/（コンテンツ）のように前にアクセントが置かれるため、発音の違いに注意が必要です。

44.

解答 ②

【解説】

「残念ながら、不運にも」という意味に最も近い英単語は②の **unfortunately** です。望ましくない、あるいは悲しい事実を述べる際に、文頭に置いて使われることが多い副詞です。例えば、「残念ながら、その便は欠航になりました」のように使います。他の選択肢について、① **unusually** は「珍しく」、③ **unintentionally** は「意図せず、うっかり」、④ **unwillingly** は「不本意ながら」という意味です。

◆補足：**unfortunately** は、形容詞 **fortunate**（幸運な）に、否定の接頭辞 **un-** と副詞を作る接尾辞 **-ly** が付いた形です。対義語は **fortunately**（幸運にも）で、セットで覚えておくと便利です。

45.

解答 ①

【解説】

「賞」という意味に最も近い英単語は①の **award** です。公式なコンテストや、功績が認められた結果として与えられる、メダルや賞金、称号などを指します。例えば、「アカデミー賞」は **the Academy Award** と呼ばれます。他の選択肢について、② **reward** は良い行いや努力に対する「報酬、見返り」で、より広い意味を持ちます。③ **ward** は「病棟」、④ **word** は「単語」です。

◆補足：**award** は動詞としても使われ、「（賞など）を授与する」という意味になります。

46.

解答 ③

【解説】

英単語「**jewelry**」は、「宝石類」という意味の名詞です。指輪、ネックレス、ブレスレットなど、装飾のために身に着けるもので、しばしば貴金属や宝石から作られています。選択肢①「陪審員」は **jury**、②「旅」は **journey**、④「嫉妬」は **jealousy** です。

◆補足：**jewelry** は、アメリカ英語の綴りで、イギリス英語では **jewellery** となります。また、この単語は数えられない不可算名詞であるため、**a jewelry** や **jewelries** とは言わず、一点を指す場合は **a piece of jewelry** のように表現します。宝石を売る人や作る人は **jeweler** と言います。

47.

解答 ①

【解説】

「生き残る」という意味に最も近い英単語は①の **survive** です。事故、災害、病気などの困難な状況乗り越えて、生き続けることを指します。例えば、「彼はその事故で生き残った唯一の人だった」のように使います。他の選択肢について、② **revive** は「生き返る、～を蘇生させる」、③ **strive** は「努力する」、④ **survey** は「～を調査する」という意味です。

◆**補足**：**survive** の語源は、ラテン語の **super-**（超えて）＋**vivere**（生きる）で、「(困難を) 超えて生きる」というイメージが核となっています。名詞形は **survival**（生存）、生存者は **survivor** です。

48.

解答 ④

【解説】

英単語「**classical**」は、「古典の、クラシックの」という意味の形容詞です。古代ギリシャ・ローマの文化や、時代を超えて高く評価される伝統的な芸術様式を指します。例えば、「クラシック音楽」は **classical music** と表現します。選択肢①「授業の」は **class-related**、②「分類された」は **classified**、③「閉鎖された」は **closed** です。

◆**補足**：**classical** と似た単語に **classic** がありますが、ニュアンスが異なります。**classical** が特定の時代様式（古典主義）やジャンルを指すのに対し、**classic** は「第一級の、典型的な」という、より一般的な称賛を表します（例：**a classic car**）。

49.

解答 ②

【解説】

英単語「**site**」は、「用地、現場、場所」という意味の名詞です。建物が建てられる、あるいは特定の出来事が起こる場所を指します。例えば、「工事現場」は **a construction site**、「史跡」は **a historic site** と表現します。選択肢①「光景、視力」は **sight** で、**site** と同音異義語なので注意が必要です。③「サイズ」は **size**、④「側」は **side** です。

◆**補足**：近年では、ウェブサイト（**website**）の略として **site** という言葉が非常によく使われます。語源はラテン語の **situs**（位置）です。

50.

解答 ①

【解説】

「～を困惑させる」という意味に最も近い英単語は①の **puzzle** です。何かが理解できなかつたり、説明できなかつたりして、人を混乱させることを指します。例えば、「彼の奇妙な行動は私を困惑させた」は **His strange behavior puzzled me.** と表現します。他の選択肢について、② **punish** は「～を罰する」、③ **purchase** は「～を購入する」、④ **pursue** は「～を追求する」という意味です。

◆補足：**puzzle** は、受け身の **be puzzled by/about** ～（～に困惑する）の形で使われることが非常に多いです。名詞としては、ご存知の通り「パズル」を意味します。
